

ぜん ぎょう じ  
善巧寺報

4 月号



月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660

榎本明覚



島根県太田市温泉津にある安楽寺

妙好人浅原才市が聴聞に通っていたお寺。寺内には才市の遺品も展示されている。

ゲイトウェイ 妙好人

～ 石見の才市 ～

▼二〇一九年四月一日▲

# 定例法座

毎  
月  
十  
一  
日

◎四月十一日(木)午後二時

〓四時

於 善巧寺 本堂

## 「命が終わるといふこと」

ずつとこのまま生きていたいと望む私たちは、普段「自分が亡くなる」という事に関してなるべく考えないように遠ざけています。そのため、葬儀に参列し故人を茶毘に付しお骨を拾う時、最後はこうなるのだなあと、なんとも複雑な気持ちにさせられるのです。さて、大学共同利用法人統計教理研究所の宗教調査「あの世を信じるか」という問いによると、1958年では「信じる」が20%、「信じてはいない」が59%であったのが、2013年には「信じる」が40%、「信じてはいない」が33%と「信じる」が上回ります。無宗教を自認する団塊の世代も高齢化し死が身近になってきた事の現われと分析されるのです。今回は、日本人の死生観を紐解きつつ、お浄土があつて良かったね、というお話をいたします。

# みほとけ会月例会

★ポジティブコキョロ  
Project★

◎五月五日(日)午後一時半

〓二時半

於 RAKUNA 新宿 会議室A

(新宿駅西口徒歩一分)

会費 五〇〇円

## 『つながって生きている』

しがらみからの脱出、核家族、コンビニエンスストアの台頭。独りで生活できる環境づくりを選択してきた私たちですが、やはり人間は人とのつながり無しには生きていけません。人間というのは「人」と「人」の「間」にある、と仰る方もいらっしゃる。仏教ではこれを「縁起」と言い、人も動物も植物も岩や小石に至るまで皆よりかかり合いつながっているのだ、と説きます。世界の広さに気がつく、ちっぽけな事にこだわり悩む自分を発見できるかも知れません。

## ※重要

五月より、みほとけ会の会場が新宿に変わります。詳細は、裏面地図をご覧ください。

計 報

東京親鸞会世田谷支部発足より永年にわたり会を支えて下さった花木 マツコ様が、去る三月二十六日、百歳にてご往生を遂げられました。生前のご恩に厚く感謝いたします。なお、通夜葬儀は四月三・四日、セレモニー目黒にて執り行われましたことをご報告申し上げます。





みほとけ会の新会場です。8名定員ですので、参加ご希望の方は事前にご連絡賜りたく存じます。[jetfidget@gmail.com](mailto:jetfidget@gmail.com) までメール頂くか、048-734-7660 (善巧寺)までご連絡ください。

◆◆春日部だより◆◆

◎改元の発表があり、新元号が「令和」と定められました。出典は『万葉集』「初春の令月にして きよく風和らぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫らす」だそうです。人口減少・経済の鈍化、来るべき厳しい冬の時代にどのような和し、令月を迎える事が出来るのか、お互いに知恵を出し合っていかなければならないでしょう。

◎十一日の定例法座は、お釈迦さまの御誕生をお祝いする花まつりを行います。例年通り花御堂を設けます。後生の事は皆引き受けたぞ、と心弱き私たちに何もかにもご用意して下さいました阿弥陀仏という仏がいらっしやいます、とお説き下さったお釈迦さまのご恩を思いつつ、甘茶をかけてお参り下さい。まこと仏教婦人会ミニミニバザーも行います。ご協力よろしくお願ひいたします。

◎本年の永代経法要は、五月十九日(日)に勤修いたします。詳細は次号にて。